



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

「情報発信事業」を核とした地域ブランディング
及び新たな担い手育成への取り組み

藤田 とし子 (ふじた としこ)

まちとひと 感動のデザイン研究所 代表



○ 登録者情報

所在地

千葉県柏市

略歴

2001年7月 NPO法人柏市インフォメーション協会入局、8月同事務局長就任、2002年4月同理事・事務局長就任
2007年11月 地方自治法制定60周年記念総務大臣表彰(団体の部)受賞
2010年2月 株式会社商店街支援センター 事業統括役就任
2011年10月 まちとひと感動のデザイン研究所設立 代表
2012年 経済産業省 タウンプロデューサー
2014年 地域活性化伝道師(内閣官房地域活性化統合「地域活性化伝道師」)

著書・論文等

- ・ 公益社団法人街づくり区画整理協会『区画整理 2013.8』寄稿
- ・ 一般財団法人日本地域開発センター『地域開発2012.12』寄稿
- ・ 毎日新聞2012.11.23寄稿
- ・ (社)日本広報協会『広報 no.667』寄稿

○「情報発信事業」を核とした地域ブランディング 及び新たな担い手育成への取り組み

取組の内容

- ① 2001年7月～、多様な主体の連携による地域活性化の組織づくりと運営に尽力しました。また、地域の様々な事業の成果を一括・配信する仕組みを作り、マスコミへの露出度UP及びクチコミの拡散による地域イメージの向上を図るブランディング戦略を展開しました。
- ② 2010年2月～、地域経済の要となる地域商業の再生と新たな担い手の育成に尽力し、支援事業終了後も各地で活躍し地域の力となる人材の輩出に努めました。
- ③ 2011年10月～、「【デザイン思考】でつくるまち歩きMAPプロジェクト」など情報発信事業を核とした地域活性化及び新たな担い手・人材育成事業を展開し、「まちを見る目、視点」「魅力を発見、カタチにする力」「情報発信のノウハウ」を伝授。地域づくりに自分ゴトとして係わる人材を育成し、持続可能な活性化組織の立ち上げ、運営のサポートをしています。
- ④ 2005年7月～、地域の新たな魅力創造のためのアートプロジェクトを創出しました。「アートラインかしわ」「アート田辺(→紀の国トレイナート)」「三朝アートプロジェクト」。

実績

- ① 情報発信拠点の整備、情報の一括管理→マスコミへのリリースにより、柏市のより良いイメージにつながる記事が2週間に1本のペースで掲載。「ウラカシ」エリアが脚光を浴び、出店が相次ぎ裏通りの空き店舗がすべて解消。「若者の街」として全国から注目が集まり、にぎわいと回遊性が向上しました。
- ② 経済産業省タウンマネージャーに2名が委嘱され、その他地元商店街組織等で役職を担っている者数名。地元で自身の事業を展開しながら地域コミュニティーに深くかかわり、活性化事業の中核メンバーとして今も活躍しています。
- ③ まち歩きMAP及び地域情報誌プロジェクトに取り組んだのは、のべ70地域。制作数は80以上。支援終了後も有志で活動を継続し、地域活性化の担い手として他の事業にも積極的に参加している例も多くみられます。
- ④ 「アートラインかしわ」11年目、「アート田辺」は「紀の国トレイナート」に発展し4年目、「三朝アートプロジェクト」は2016年立ち上げ、次年度も計画中。

工夫した点や苦勞した点

すべての事業は「持続可能な地域づくり」を目標に、市民（地域住民）が主役となり、企画、立案、資金調達、計画、実行まで地域の人材だけで完結できるよう、組織としくみをつくりこみ、事業運営のノウハウを伝授しています。

なるべく費用をかけずその分時間と手間をかけ、小さな成功体験の積み重ねにより地域人材の学びと成長を促し、「まちに対する誇りと愛着の醸成」へと導いています。

瞬間的な集客や盛り上がりとはならないため、事業成果が見えにくいのが欠点ですが、かかわった人たちの充実感・達成感が次の事業の原動力となり、地域活性化事業も活発になっています。

ひとことPR

「活性化事業の数は多くとも、その成果は見えず」の現状を打破し、成果の可視化＝情報発信が大切です。

とはいえ、単に情報をばらまくのではなく、理想とする「地域イメージ」をカタチにするためのブランディング戦略にのった事業の展開、情報発信が重要です。

人口減少社会の今、高度成長期の成功モデルにとらわれず、多様な主体の連携と持続可能な地域づくりのために、デザイン思考を活用し市民（住民）起点で新たな地域づくりに取り組みませんか。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています（複数の分野に該当するものもあります）。

	1	地域経営改革	○	7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

まちとひと 感動のデザイン研究所
<http://kando-design.com/>

連絡先

メールアドレス	info[アットマーク]kando-design.com その他（個人携帯） fujita1045[アットマーク]gmail.com	その他	
---------	---	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る